



飢餓から救う。未来を救う。



チュニジアの小学校を訪れた杏さん。子どもたちが国歌を歌って気持ちを届けてくれました。

国連の食料支援機関

国連WFPニュース Oct.2023 Vol.72

特集：国連 WFP 親善大使の杏さん チュニジアを訪問
— 学校給食支援、女性主導の農業開発団体の現場を視察 —

国連 WFP 日本事務所新代表 就任インタビュー

SAVING
LIVES
CHANGING
LIVES

インフォメーション

あなたの「ごちそうさま」が寄付に #ごちそうさまチャレンジ
SNS 投稿 1 回につき 5 人分の学校給食になります！

・実施期間：2023年9月29日～10月31日 ・キャンペーンサイト：
・対象SNS：Instagram、X(旧 Twitter)、 <https://www.jawfp.org/worldfoodday2023/>
Facebook



今世界では、約 8 億人の人びとが飢餓で苦しんでいる一方で、食料生産量の 3 分の 1 が廃棄されています。日本も「食品ロス」大国の一つで、国連 WFP が世界で支援する 1.1 倍もの食品が廃棄されている現状があります。「食品ロス」と「飢餓」という 2 つの食料問題への関心を促し、さらに食品ロス削減の取り組みを通じて「寄付」ができる

SNS キャンペーン「#ごちそうさまチャレンジ」を実施しています。

食品ロス削減につながる行動や「ごちそうさまポーズ」を「#ごちそうさまチャレンジで飢餓をなくそう」をつけて SNS に投稿すると、1 投稿につき学校給食 5 人分が協力企業により国連 WFP に寄付されます。



WFP チャリティーエッセイコンテスト 表彰式 LIVE 配信決定！

本年も、たくさんのご応募ありがとうございました。表彰式には、特別審査員のふなっしーさんと広瀬アリスさんも出席します。どうぞお楽しみに！ぜひ以下からご覧ください。

・日時：2023年10月16日(月) 14:00～
・<https://www.wfpessay.jp/2023/>



© ふなっしー

撮影：山川修一(扶桑社)

撮影：藤山紀信



身近にできる国連WFP支援 レッドカップキャンペーン

国連 WFP が給食を入れる容器として使っている「赤いカップ」を目印に、毎日のお買物で学校給食が支援できるレッドカップキャンペーン。新たに 6 社が参加しました。売り上げの一部は学校給食支援に寄付されます。
<https://www.jawfp.org/redcup/>



 <p>アルファ食品株式会社 ・出雲のおもてなし ・丹波大納言小豆のお赤飯 ・学校給食向けお赤飯</p>	 <p>株式会社タカミヤ タカミヤの愛菜野菜 (きゅうり・ミニトマト・いちご)</p>	 <p>中央フードサービス株式会社 近江牛 すき焼きセット</p>
 <p>日清ヨーク株式会社 十勝のむヨーグルト プレーン・ブルーベリー・いちご 900g</p>	 <p>株式会社ニッポン ・オーマイスヴェグティ1.5mmと1.7mm結束タイプ500g ・オーマイ早ゆでサラダマカロニ 160g</p>	 <p>株式会社メルローズ 【メルローズ50周年限定】 ロゴプリント T シャツ</p>



国連WFP
<https://ja.wfp.org>
0120-496-819
受付時間 9:00～18:00
(通話料無料・年始を除く年中無休)

国連 WFP は「飢餓をゼロに」の実現を通して、SDGs のさまざまな目標の達成に貢献しています。



ご寄付はこちら



メルマガ登録



国連WFP日本事務所新代表に つむら やすひろ 津村康博が 就任



今年7月、国連WFP日本事務所の新代表に津村康博(つむらやすひろ)が就任しました。津村は民間企業・団体での勤務を経て、1998年に国連WFPに入職。国連WFPでの25年のキャリアの中で、ローマ本部、日本事務所、コンゴ、ケニア、中央アフリカ共和国、コンゴ民主共和国、セネガル、モーリタニア、シエラレオネ、ガンビアと多くの支援現場での活動に携わってきました。直近では、ガンビア国事務所の代表を務めました。就任にあたっての意気込みなどを聞きました。

—— 飢餓問題に関心を持つようになったきっかけは？

学生時代にソ連邦が崩壊して東西冷戦が終結しましたが、同時にボスニアやルワンダなどで民族紛争が勃発し、報道を通してすさまじい虐殺や人道危機について知り、紛争の要因や貧困、飢餓の問題について強い関心を持つようになりました。

—— これまでの国連WFPの仕事で最も大変だったのは？

コンゴ民主共和国や中央アフリカ共和国の紛争地で、道路状態の悪い奥地まで切れ目なく食料を届けることが非常に困難でした。雨季には道路がぬかるんでトラックが立ち往生したり、武装勢力を恐れて運送会社が就業拒否をすることもあり、これに資金不足を加えると、これらの国々では食料を届けること自体が至難の仕事でした。

—— 支援の現場で印象に残っていることは？

かつて荒れた沼地であった場所が自立のための食料支援によって水田として整備され、稲穂で色づいているのが、農家の人びとの歓喜とともに強く印象に残っています。また、学校給食はどこの国でも支援の大切さが強く感じられる場所です。給食を食べる子どもたちの笑顔は万国共通です。

—— 途上国の問題は遠い世界のように感じる人もいますが、私たちには何ができるのでしょうか？

昨今地球規模の問題が先進国と途上国ともに打撃を与えています。新型コロナの流行、ウクライナ危機による価格の高騰、気候変動による自然災害などがそうです。日本の豊かな食はコメ以外の多くの食品を輸入に頼っており、例えば魚やタコなどは遠く西アフリカ沖の大西洋からも多く輸入されています。食卓ののっている食品の原産国を見て、その国に生きる人びとに思いをはせてみてください。世界の飢餓について調べてみてください。可能であれば、飢餓人口の多い国の人びとへの食料支援に寄付してみてください。

—— 日本事務所代表就任にあたっての意気込み、そして支援者の皆様へのメッセージをお願いします。

25年間の国連WFP勤務、特に15年間のアフリカの現地事務所での勤務経験を生かして、より多くの日本の皆様に国連WFPを知っていただき、連携を深めていきたいです。皆様の支援により国連WFPは人びとの生きる力と将来の希望を後押しし、国の発展にも貢献しています。今後もご協力をよろしくお願いいたします。



© WFP/Megumi Iizuka

チュニジアの一般的な教室で授業を受ける子どもたち。右の壁には、野犬に噛まれた時や目の感染症の症状が出た時など、日常生活で起こる様々な危険の対処法について書かれています。



© WFP/Megumi Iizuka

チュニジアの料理には香辛料が使われることが多く、子どもたちの食べる給食にもしっかりと辛みがありました。小さい頃から食べるので、慣れているのだそうです。

国連WFP親善大使の杏さん 初めての海外活動でチュニジアを訪問

国連WFPの親善大使で女優の杏さんが、今年5月にチュニジアを訪問し、国連WFPが支援する学校給食や女性農業団体の現場を視察しました。その様子をお届けします。

豊かな食文化を持つチュニジアは、気候変動やウクライナでの戦争の影響で、近年、貧困層を中心に深刻な食料不足に陥っています。

視察の初日、首都チュニスから車で1時間離れたシリアナ県のソドガ小学校を訪れた杏さん。はじめは緊張していた子どもたちも、杏さんが授業は何になりたいうて尋ねると、「パイロット」「先生」「お医者さん」「サッカー選手」など、次々に笑顔で答えました。給食の時間になると、子どもたちは手を洗い、食事を受け取ってテーブルを囲みます。メニューはクスクス、パン、香辛料の効いたサラダ、オムレツです。杏さんも子どもたちと給食を食べながら交流しました。食べ終わるとみんな自分たちでお皿も洗います。

ソドガ小学校では以前は給食がなく、半数以上の子どもたちはお昼を食べることができませんでした。国連WFPは2014年からチュニジア政府を支援し、国内2500カ所で学校給食を提供、食堂の整備や栄養指導も行い、子どもたちは毎日栄養たっぷりの給食を食べられるようになりました。

学校の近くでは、オリーブなどの農業を営む家庭が多く、収入は季節によって左右されます。貧困家庭の子どもたちにとっては、学校給食がその日唯一の食事になることもあります。チュニジアでは人口の約2割が貧困ライン以下で生活しており、気候変動や食料価格の高騰を受けて、農村地域では生活がより一層厳しくなっています。

「1、2時間かけて登校する子どももいます。勉強した後にお腹いっぱい給食を食べることで、子どもたちは栄養状態が改善するだけでなく、勉強に集中することができています」と学校の先生は話します。

杏さんは「給食が子どもたちの栄養にも、勉強にも良い影響を与えていて、子どもたちがそこで得た知識が国の未来につながっていくことを感じました」と話しました。

今後とも皆さまのあたためたいご支援を、お願い申し上げます。



視察の様子をぜひ動画でご覧ください



© WFP



二日目、杏さんは北部のマヌーバ県で、女性が主導する農業開発団体を訪問しました。女性農家は、乾燥した農地を開墾し、小麦やオリーブを育てています。杏さんは、この地域で農業を営む女性たちが、収入を増やすために、生産や加工、販売に関するスキルを学ぶ必要があることを確認しました。



© WFP/Megumi Iizuka

国連WFPは、職業訓練を行い、協同組合や農業グループの設立をサポートしています。杏さんは、この地域で農業を営む女性たちが、収入を増やすために、生産や加工、販売に関するスキルを学ぶ必要があることを確認しました。杏さんは、この地域で農業を営む女性たちが、収入を増やすために、生産や加工、販売に関するスキルを学ぶ必要があることを確認しました。